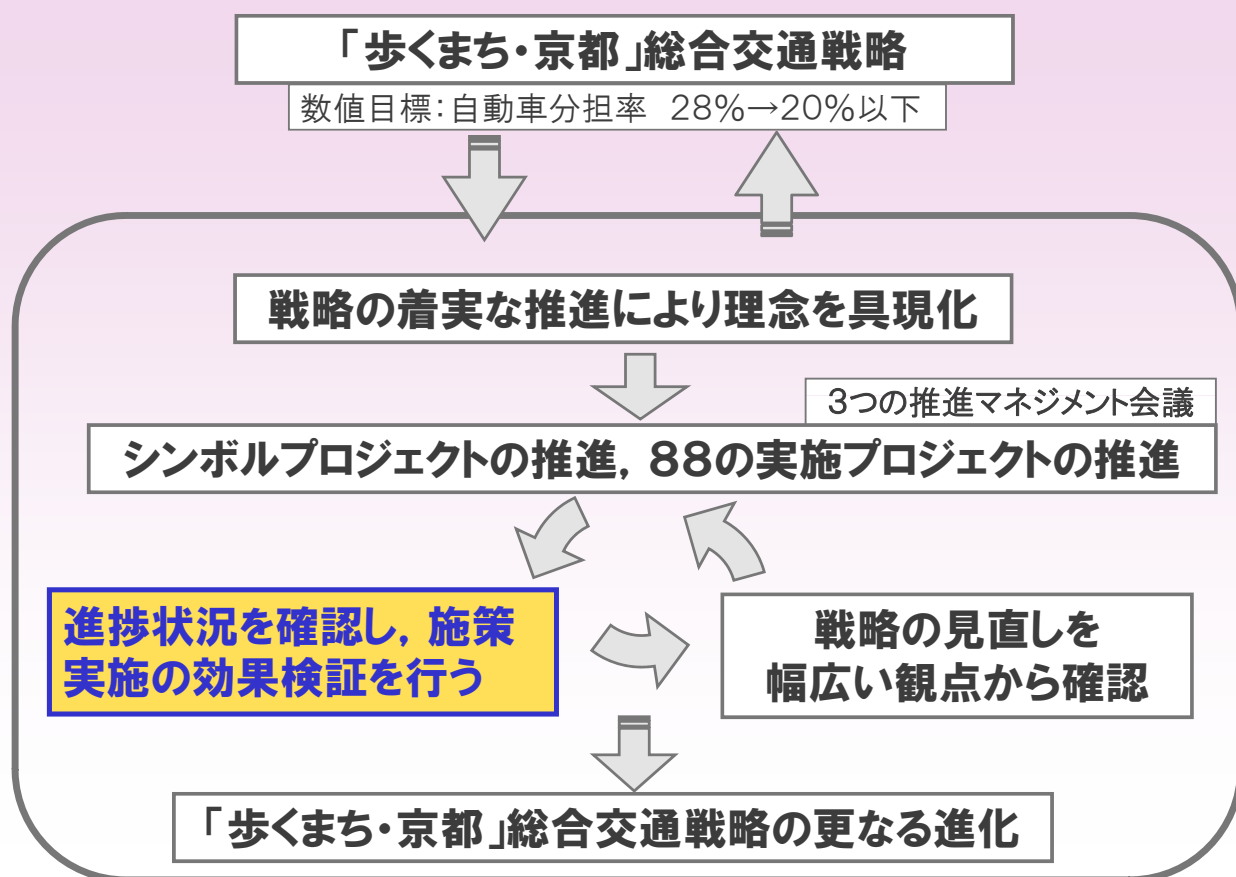




平成23年3月30日 ¹

「歩くまち・京都」推進会議の役割



戦略に掲げる実施プロジェクトの主な進捗

3

第2回推進会議(1月)以降の主な進捗

- 電車・バスでまわる「歩くまち・京都」京都フリーパス
- 洛西地域におけるバス利便性向上
- 京都駅南口駅前広場整備
- 四条通の歩道拡幅と歩行者優先化
- 駐車場施策
- 「スローライフ京都」^{プロジェクト}大作戦
- 「歩くまち・京都」シンポジウム

4

電車・バスでまわる「歩くまち・京都」京都フリーパス

□ 創設の目的

- 京都の鉄道・バスのネットワークを活かした使い勝手の良い乗車券を創設することにより、公共交通の利便性を向上させ、京都市外からのマイカーによる来訪の抑制と市内の交通渋滞の緩和を目指す。



磁気券

□ 京都フリーパスの構成

- 1日(又は2日)フリー版
- 主な観光地や施設等の案内冊子
- 公共交通でまわる京都観光マップ
- アンケート用紙

□ 販売実績 (3月23日時点)

- 1日フリー版 約1,000枚
- 2日フリー版 約1,700枚



案内冊子の表紙

5

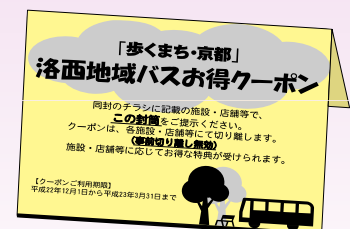
洛西地域におけるバス利便性向上

□ 実施内容

- バスのダイヤ改正による鉄道との接続向上
- バスに関する情報提供
- 停留所施設の改善
- 洛西地域バスお得クーポンの発行
- 鉄道駅における行き先表示板の改善と案内標識の新設
- 鉄道駅構内におけるバス案内板(路線図, 時刻表)の設置(3月26日実施)



境谷大橋バス停



□ 事業効果(平成22年度上半期バス輸送人員対前年比)

- 3%増~15%増



阪急桂駅西口

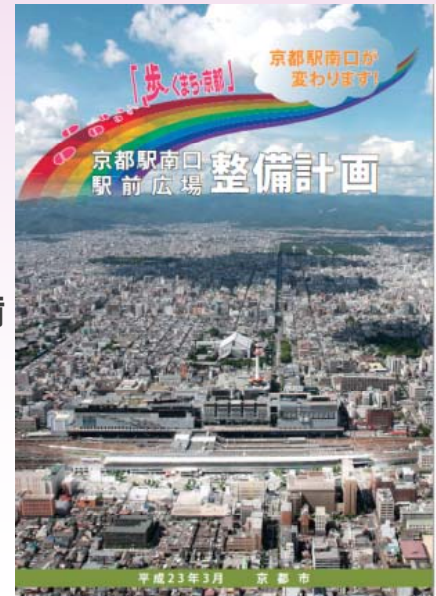
6

京都駅南口駅前広場整備

「京都駅南口駅前広場整備計画」を発表(3月9日)

□ 「歩くまち・京都」の視点に立った「リニューアル計画」の基本方針

- ポイント1
「歩くまち・京都」の玄関口としてふさわしい
公共交通優先の施設配置
- ポイント2
「京都の顔」としてふさわしいおもてなしの心を
感じさせる景観・環境を備えた駅前広場の整備
- ポイント3
「まちの賑わい」を生み出す駅前広場の形成



7

四条通の歩道拡幅と公共交通優先化

事前調査 10月～

バス運行状況調査, 車両挙動調査, GPS調査, 路上駐停車調査, 自動車OD調査

業務交通に関する実験 11月～3月

バスを対象とした実験 2月

- バス停の集約化
- バス運行経路の一部変更及び新設
⇒ 交通の円滑化及び利便性向上,
バス運行経路の見直し

荷捌き車両を対象とした実験 1月

- 午前中集約化
- 路外荷捌場の設置
⇒ 交通ピーク時の荷捌きや
路上荷捌きの削減

タクシーを対象とした実験 11月, 3月

- タクシーMM
- タクシー乗り場の見直し
⇒ 違法な客待ちや不要な通過交通の排除

自動車の流入抑制 12月

- 経路変更を促す看板設置や広報活動
による通過車両抑制
⇒ 都心部への流入交通の抑制

細街路における交通処理

- 人が主役のまちなか道路
- シェアード・スペース実証実験
⇒ 歩行者の安心・安全の確保
通過交通の抑制

放置自転車対策 12月

- 臨時駐輪場の設置
⇒ 放置自転車の減少
歩行者の安心・安全の確保

効果調査 11月～3月

バス運行状況調査, 車両挙動調査, GPS調査, 路上駐停車調査, 路外荷捌場利用調査,
自動車OD調査, 車両走行速度調査, 交通量調査, 意向調査

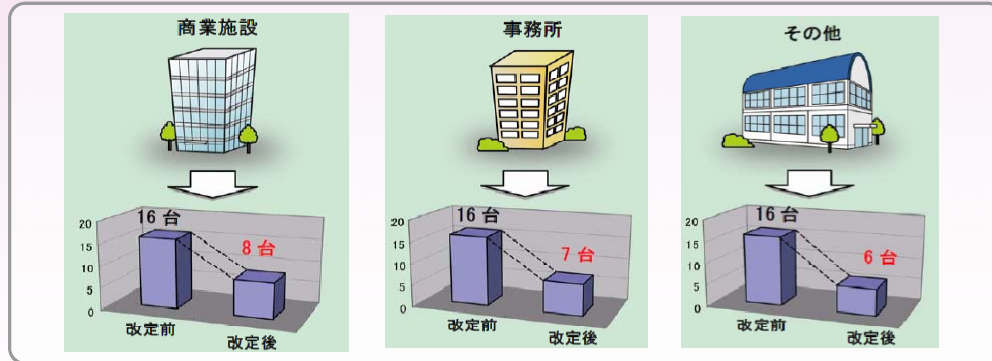
8

駐車場施策

□ 京都市駐車場条例の改正

- 建築物に係る用途区分の細分化と附置義務基準の見直し
- 附置義務対象の見直しによる附置義務の緩和
- 自動車利用の抑制を図る施策
 - (1) 駐車場整備地区における隔地制度の緩和
 - (2) 公共交通利用促進策に対する新たな附置義務制度引き下げ規定の創設

例：駐車場整備地区に4,400㎡の建築物を建築する際に必要となる駐車台数は・・・



□ 大規模小売店舗立地法に基づく必要駐車台数の引下げ(案)を策定

- 大店立地法が求める必要最小限度の駐車台数を引き下げる、本市独自の「運用基準」の素案を策定し、市民意見を募集(3月1～31日)

9

プロジェクト 「スローライフ京都」大作戦

- 市民しんぶん等により募集した「スローライフ宣言」は、約4,000件いただきました。

歩きましょう!

—クルマは、ほどほどに—

スローライフ宣言募集中!
「スローライフ京都」実施に向けて、あなたの「スローライフ宣言」を、お寄せください!詳しくは市民しんぶん(12月15日号)をご覧ください。

歩くまち・京都

「スローライフ京都」大作戦

伝統的な京都のまちに似合うのは、クルマでしょうか? 歩く人々でしょうか?

「スローライフ京都」大作戦の主役は、市民の皆様ひとりひとりで、健康、環境、そして、まちの活力のためにも、なるだけクルマに頼りすぎず、歩くことを中心に、スローライフしてみませんか?

京都市都市計画局 歩くまち京都推進室
京都市庁舎第222号

大从あひる

「スローライフ京都」大作戦(「スローライフ京都」推進会議での御意見を受けて)

□ インターネットでの情報発信

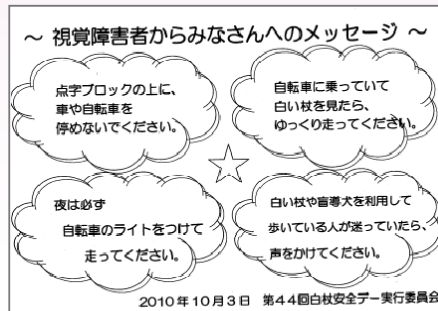
- 平成23年1月から、歩くまち京都推進室のツイッターを開始
- 歩くまち京都推進室のホームページの整理, 充実

□ シンポジウムとラジオの連携

- 「歩くまち・京都」シンポジウムと同日に、「桂塩鯛のサークルタウン」, 「山崎弘士のGOGOリクエスト」と連携し, シンポジウムのPRや京都のまちを歩く楽しさを発信

□ 誰もが歩いて出かけたくなるまちの呼びかけ

- 「歩くまち・京都」シンポジウムの「歩くまちトーク」で, 「視覚障害者からの4つのお願い」の紹介と「障害のある方への声かけ」や高齢者, 子供を連れた方への配慮をお願い。



11

「歩くまち・京都」シンポジウム

ほ ほ え
～誰もが“歩・歩・笑み”を浮かべるまち・京都を目指して～

日 時	平成23年3月5日(土) 午後2時～午後4時30分
場 所	京都市勧業館みやこめっせ「第1展示場A面」
目 的	市民の皆様のライフスタイルを、クルマ中心から、歩く暮らしを大切にするものへと更に転換いただくため、歩くことの魅力や京都のまちを歩く楽しみについて語り合う
主な内容	歩くまちトーク 笑福亭晃瓶氏, 中村薫氏, 村上祐子氏, 藤井聡氏 基調講演 土居好江氏 「歩いてこそ魅力が満喫できる京都! ～京都まち歩きのスズメ～」 パネルディスカッション 土井勉氏, 大石まり子氏, 奥野史子氏, 土居好江氏, 藤井聡氏 「歩くことの魅力 ～健康とまちづくり～」
来場者	約500人



来場者参加型の
パネルディスカッション

YES

NO

YES/NOボード



問:
「歩くまち・京都」について
職場や家庭で話してみよう
と思うか

→ YES: 約96%

NO: 約4% など

12

3つの推進マネジメント会議の状況

13

3つの推進マネジメント会議の状況

「歩くまち・京都」推進会議

公共交通ネットワーク推進会議

【主な議題】

- 平成22年度の総括について
- 平成23年度の公共交通ネットワーク推進会議の進め方について

未来の公共交通推進会議

【主な議題】

- 今後の未来の公共交通推進会議の進め方について
・重点的に検討する地域及び実施プロジェクト

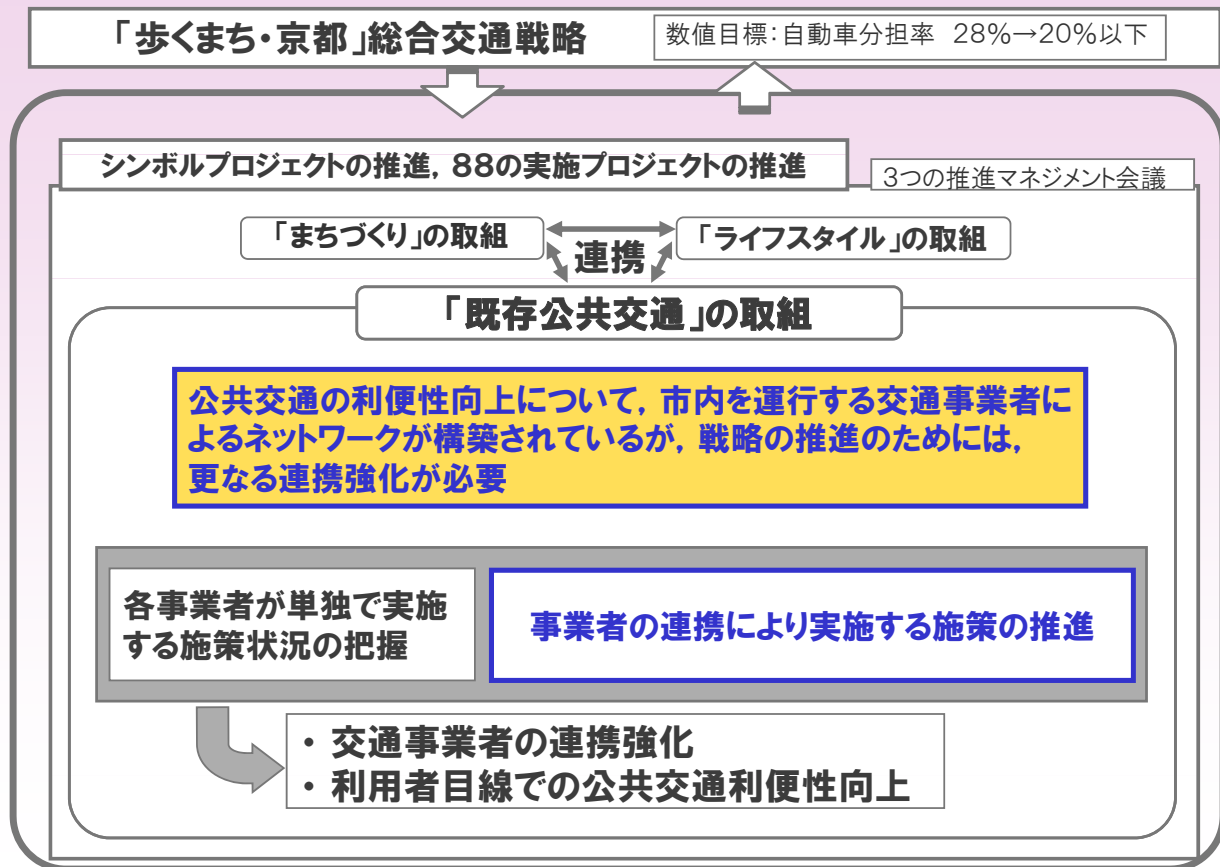
「スローライフ京都」推進会議

【主な議題】

- 「スローライフ京都」プロジェクト大作戦の進捗について
- 「スローライフ京都」プロジェクト大作戦の今後の展開について

14

公共交通ネットワーク推進会議の役割と目的



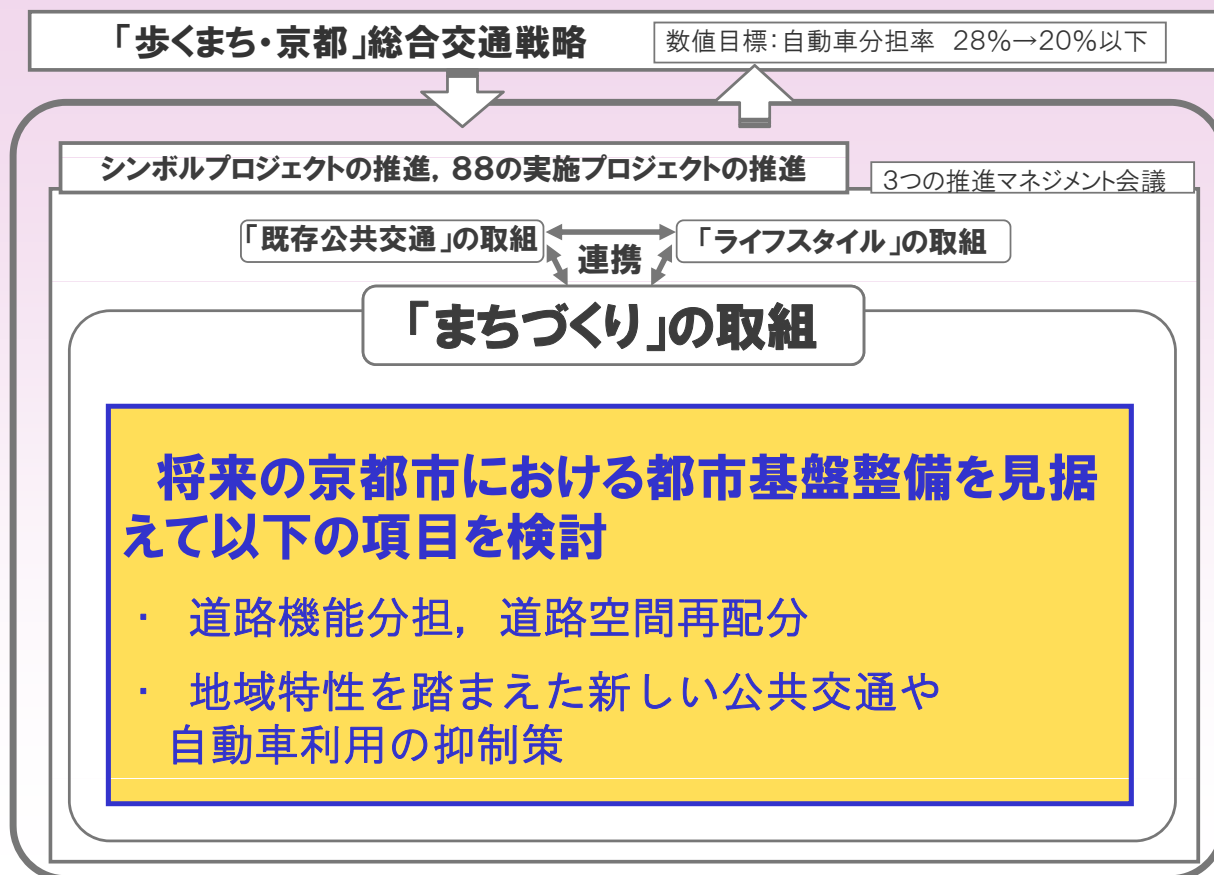
15

公共交通ネットワーク推進会議での論点

- 京都フリーパスの今後の検討内容
 - 子ども券の設定
 - パークアンドライドとの連携
 - 販売期間や販売箇所の拡充
- バス車内の情報オンライン化
 - バス車内において, スマートフォンなどに行先案内や沿線情報を提供
- バス停などでのアナログな情報提供
 - 携帯電話などを使いこなせない人を対象に検討
- バス交通について議論を深める組織
 - 3つのワーキンググループ(洛西地域公共交通利便性向上検討WG, 京都フリーパスWG, 公共交通不便地域のあり方検討WG)の再編を視野に検討

16

未来の公共交通推進会議の役割と目的



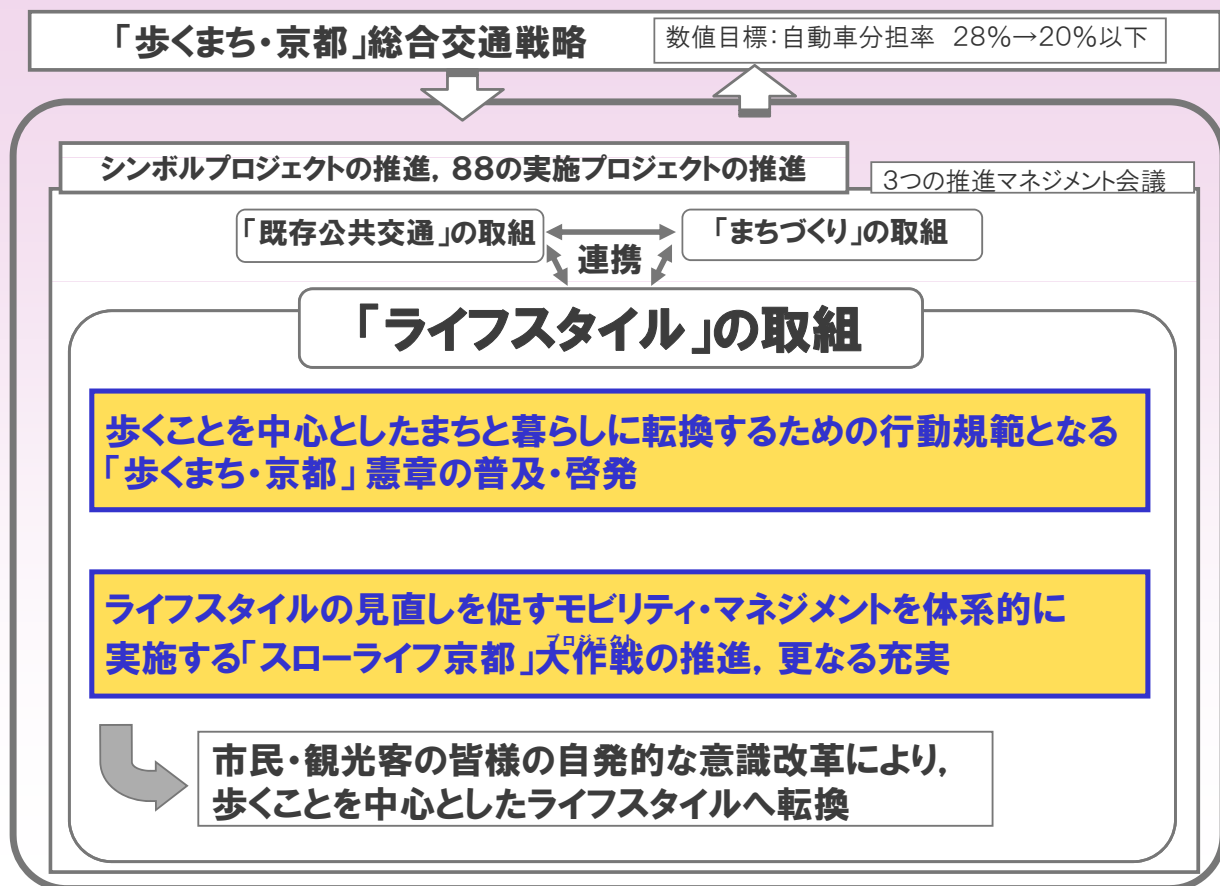
17

未来の公共交通推進会議での論点

- 重点的に検討する地域
 - 市民・観光客の皆様の移動が多いことなどから、都心部を対象とする。
- 重点的に検討する実施プロジェクト
 - 88の実施プロジェクトの進捗状況を把握し、実現可能性と期待される効果などを踏まえて優先順位を検討
- 実施プロジェクトの体系化
 - 財源のあり方についても留意し、実施プロジェクトの相互関係を明らかにする。

18

「スローライフ京都」推進会議の役割と目的



19

「スローライフ京都」推進会議での論点

□ インターネットを活用した呼びかけ

- ツイッター等で情報発信を開始しているが, 市民の皆様メールアドレスを登録いただき, 情報の配信が可能となる仕組みを検討
- 京都というまちは, 歩いて楽しい資源に恵まれたまちであり, 歩くきっかけとなる。ツイッター等の電子化された口コミを活用して, きっかけを広げていくことが重要

□ 効率的な手法の検討

- 会議で出されたアイデアについては, 実現可能性を検討のうえ, 優先順位を整理
- 改めるべきところを見直しながら「スローライフ京都」^{プロジェクト}大作戦を更に充実

□ その他

- 若者のマナーが悪いと言われるが, 小さい頃からクルマで移動していることが, 公共空間におけるマナーが身に付かない一因ではないか。

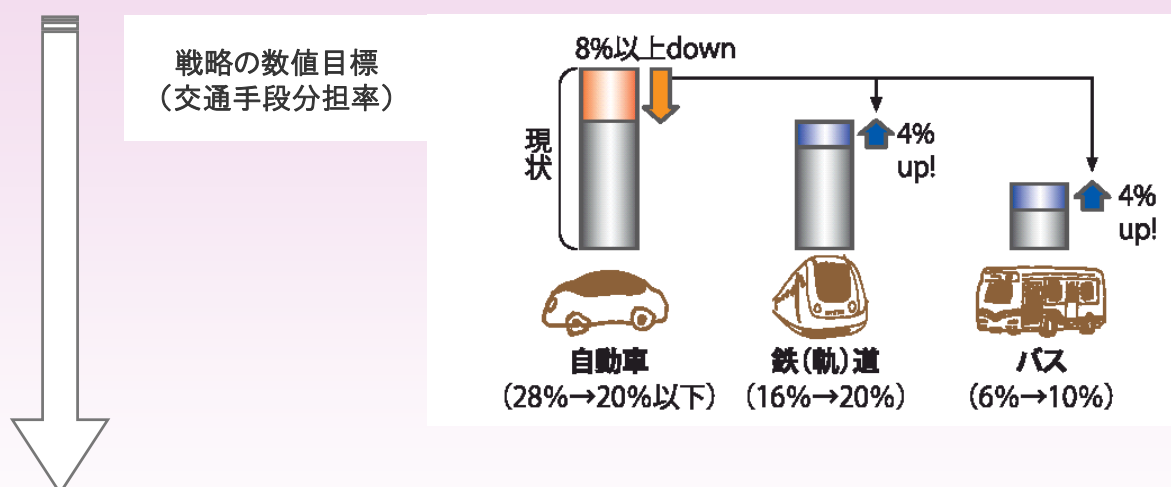
20

戦略の効果検証について

21

戦略を推進するうえでの効果検証のあり方

戦略の理念を共有し、戦略を着実に推進するうえで、進捗を確認するとともに、市民・観光客の皆様に進捗状況を知っていただくことが重要である。



市民・観光客の皆様にはわかりやすい効果検証を行う必要がある。

22

効果検証のポイント その1

<ポイント① 公共交通>

公共交通の利用者数やバス旅行速度の状況を把握し、既存の公共交通を再編強化し、使いやすさを世界トップレベルにする「既存公共交通」の取組について検証を行う。

【指標】公共交通利用者数、バス旅行速度 など

<ポイント② 道路機能>

市内主要道路の自動車交通量、自動車旅行速度、歩行者数を把握し、「歩くまち・京都」総合交通戦略の目標とする未来のイメージにおける「歩行者、公共交通、自転車、クルマそれぞれの特性に応じた道路ネットワークが再構築されている」について検証を行う。

【指標】自動車交通量、自動車旅行速度、事故件数、歩行者数 など

<ポイント③ まちの賑わい>

「歩くまち・京都」総合交通戦略の目標とする未来のイメージにおける「まちなかの道では、人と人がふれあい、賑わいと活気に満ちている」の実現に向け、歩行者数や小売業の年間商品販売額を把握し、まちの賑わいについて検証を行う。

【指標】歩行者数、歩行者属性、歩行者の滞留時間及び回遊性、商業的指標（小売業の年間商品販売額、売場面積など） など

23

効果検証のポイント その2

<ポイント④ まちづくり>

地域(元学区)別の人口推移や人口密度と公共交通サービスレベルを把握し、京都市が目指すコンパクトなまちづくりについて検証を行う。

【指標】コンパクトシティ化(学区単位の人口密度)、CO₂排出量 など

<ポイント⑤ ライフスタイル>

市民や観光客の満足度、健康指標を把握し、過度なクルマ利用を控え、歩くことや公共交通を利用することを中心としたライフスタイルについて検証を行う。

【指標】交通に関する市民満足度、交通に関する観光客満足度、健康指標(糖尿病患者数など) など

<ポイント⑥ 社会経済>

人口、高齢化率、運転免許保有者数などの既存統計データなどを用いて、地域別などに集計し、社会経済の変動特性を分析する。

【指標】人口、高齢化率、就業人口、運転免許保有数、原油価格、ガソリン消費量、駐車場台数、市営駐車場利用台数、入洛観光客数、観光消費額 など

24

効果検証の実施フロー

88の実施プロジェクトの進捗を把握

効果検証の指標データを収集



実施プロジェクトの進捗状況を踏まえて、実現可能性を分析
効果検証の指標データについて、増加率の変化とその要因などを分析



推進会議に分析結果を報告



一人一人のライフスタイルの更なる転換

戦略の更なる進化



人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現

25

本日の会議の進め方

意見交換のポイント

平成22年度の「歩くまち・京都」総合交通戦略の主な進捗
や3つの推進マネジメント会議の議論の内容を踏まえて、

- ・今後の戦略の更なる推進
- ・3つの推進マネジメント会議の進め方
- ・効果検証の方向性

などについて御議論いただきたい。

26